

での対応はなされていません。これからになります。

個人質問



齋藤 悟朗 議員

● 職員の勤務評定について

Q 先日、読売新聞に「勤務に問題、分限免職、千葉市4月から研修制度」という記事が掲載されていたが、山武市もそういう研修制度を用いて、何かほかで働けるところがあれば、そのほうへ職場異動することはどうか。

A 市長 そういった制度を設けていくということについては、これからいろいろと考えてみなければいけないと思います。

Q 勤務評定して、降格しているところはあるか。
A 市長 降格が、2件あります。分限によるものもありますが、希望による降格もあります。なかなか与えた職がこなせない、あるいは、地位が難しいと

いう場合に、本人と話をしながら、自分の適性に合ったものにしていくという制度をもうけています。

Q 必要がある人は、研修に行ってもらったほうがいいのではないかと。
A 市長 重要な御提案だと思います。おっしゃる通りに、例えばその人の必要な研修をあぶり出してくるような評価があって、その人にそういった研修を与えることによって、さらに能力の改善が図れるということであれば、評価制度そのものも生きていくと考えますので、何らかの形で本人の能力アップにつながるような研修は必要だろうと考えます。

Q 一般の人から見たら、人の1割か2割しか仕事をできない人を研修しないで、10年、20年、給料を払って、置いておく。賞与も払う。ということが、あってもいいの。研修制度を設けたほうが、市のために、職員のためにいいと思うがどうか。
A 市長 積極的に研修に出しているということ

は、今でもやっています。やる気のある人、積極的に前に進みたい人を研修に出しています。

Q 今、お尋ねの件につきまして、は、むしろ平均までいってないから、研修でそこまで持ち上げろということだと思えます。有効な研修ができれば、もちろん取り入れさせていただきます。研修について、またお教えいただきたいながら、こういったことが有効だということがあれば、積極的に取り入れていきたいと考えています。

● 市内の改革

Q 本庁舎の建物とコードも園、プロポーザル・デザインビルド方式でやったら、最低価格と最高価格で、約2億円の差がある。それは、市長たち、職員の方々は、それだけいいものができるんだと、誇りに思っていると思う。2億円を出して、何が、どこが、どういいういいものが生まれるのか。

A 市長 今回のように、そのほかの提案を評価して、価格では決めてい

ないよということの業者の選定でございました。ですから、価格という面から考えれば、これは無駄だとおっしゃることについての、そうではないという答えは返せません。

Q 今度は、設計と施工を同じ会社にお願いとすという中で、来年度いっばいで、この建設を終えようという大きなもろみがありました。それと、プロポーザル・デザインビルド方式の中で、価格以外の技術力を中心に選定していただくということとは、まず会社側の熱意が、そこに如実にあらわれてきます。そういった中で、これから将来にわたって、使っていく庁舎、市民の皆様方にも御利用いただく庁舎が、どのようなものができていくかということは、これはできてみなければわかりませんし、今回初めてのプロポーザル・デザインビルド方式でございますから、結果はこれから出てくるとは思います。

Q 何がよくて、プロポーザル・デザインビルド方式を選んだのか。

A 市長 入札、その他で時間が大変取られることを省く中で、一体的な設計・施工をお願いし、建設会社の設計部門のノウハウを最大限生かしていただくということが、一番のもくろみだろうと思っております。

Q 市民に説明なく決めてしまっているのか。

A 市長 庁舎は市民のもので、おっしゃるとおりだと思います。そういうつもりで、私ももちろんかりとしたものを選び、建てていただきたいという形で選定をしたと考えています。

Q これから先、合併特例債がなくなってきたら、どうするのか。

A 市長 身の丈予算を基に本に考えています。それは将来の負担、将来の財政の規模を視野に置きながら、今の財政を組み立てているということには変わりありません。合併特例債の使える時期を考えていますので、その中に、やらなければいけないものは、しっかりとやっておく。しかしながら、将来の公債費比率

を最大限生かしていただくということが、一番のもくろみだろうと思っております。

Q 無駄を最小限におさえるには、どうしたらいいのか。

A 市長 この発注も含めまして、税金の用途は行政だけのものではないし、議会だけのものでもない。業者だけのものでもありません。最終的には、市民の皆様方のものです。それと等しく、市民全体のものであると思います。

Q 無駄を最小限におさえるには、どうしたらいいのか。

さらに有効な方法があれば、業者の選択に関しましても、例えばプロポーザル・デザインビルド方式の選択に関しましても、議会からの御参加もお願いできれば、それにこしたことはないと思いますし、市民の中にも有識者がいるだろうということですので、そういったことが可能であれば、それは、そういう方法も十分考えられると思っております。